

【視覚障がしい】

石狩管内

北海道札幌視覚支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒064-8629 札幌市中央区南14条西12丁目1-1
- 問合せ先 TEL 011-561-7107
FAX 011-561-2423
E-mail sapporoshikaku-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 基本理念

「視覚障がい教育の専門性を発揮し、教育機能、理療機能、支援機能を推進する学校」

□ 学校教育目標

「将来に向かって」

- 意欲的に学び、考える人
- 心を豊かに伝え合い、思いやりのある人
- 健康で、たくましく活動する人

□ 概要

本校は、視覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、幼稚部から専攻科まで一貫した専門的な教育を行う学校として、北海道札幌盲学校と北海道高等盲学校が統合し、平成27年4月に開校した学校です。高等部は、普通科と高等学校卒業後に入学できる専攻科を設置しています。

専攻科は、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の国家資格を取得するための学科（保健理療科、理療科）を設置しており、途中で視覚障がいとなった方も多数入学しています。



■特色ある教育活動

高等部普通科の教育目標

障がいによる困難を主体的に改善し、責任ある社会人として必要な知識・技能とたくましく生きる力をもつ次のような生徒を育てる

- 将来を見据え、自ら学び、考え、表現できる生徒
- 自他を尊重できる生徒
- 健康と安全を管理し、心身を鍛えることができる生徒

【 安心・安全な教育環境 】

校内を安全に移動するための誘導ブロックや見やすい教室表示、明るさを調節できる教室照明、遮光カーテン等、見えない、見えにくい生徒が安心・安全に過ごせる教育環境を整備しています。

【 視覚障がいに適した学習内容・方法 】

点字や文字を拡大して読むことは時間がかかるため、学習内容を精選して学習し、基礎・基本の定着が図られるようにしています。個々の生徒の実態に応じて、「聴くこと」「触ること」「残存視力を活用すること」を生かした教材・教具で学習に取り組みます。

【 ICT機器の活用 】

高等部普通科では、生徒全員がタブレット端末を所有しており、校内Wi-Fiネットワークを活用した学習に取り組んでいます。最適な環境で調べ学習を行ったり、デジタル教科書を利用したりすることにより、ICT機器の活用能力を高め、視覚障がいによる「情報収集」「文字の読み書き」等の困難さを改善・克服しています。

【 視覚障がい者スポーツの取組 】

本校に入学してから視覚障がい者スポーツを通して「運動する楽しさ」を味わう生徒が多く、部活動を通して全国大会への出場やアスリート発掘プロジェクトに参加している生徒もいます。

※ 特別支援学校高等部や高等学校を卒業した方を対象とした専攻科を設置し、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得に向けた学習をします。（理療科、保健理療科）



普通科：点字や拡大文字による教科学習



普通科：ICTを活用した学習



普通科：職業での作業学習



普通科：単独歩行に向けた学習



専攻科：あん摩施術の学習



普通科：ゴールボールの学習

■普通科第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	地理総合	現代の国語	倫理表現	音楽	現代の国語
2	英語C○	生物基礎	公共	数学I	体育
3	言語文化	数学A	数学I	英語C○	公共
4	数学I	英語C○	体育	地理総合	数学A
5	音楽	家庭総合	自立活動	体育	生物基礎
6	体育	家庭総合	言語文化	LHR	倫理表現

※英語C○：英語コミュニケーション

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	社会	自立活動	自立活動	自立活動
2	体育	職業	体育	職業	数学
3			情報		国語
4	音楽	自立活動	音楽	道徳	理科
5	数学		美術		美術
6	国語	英語	美術	LHR	美術

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
登校時間 8:40（月～金） 下校時間 15:25（月～金）

■教育課程の特徴

高等部普通科の普通学級と重複障がい学級は、学校行事や生徒会活動、部活動等で生徒と一緒に協力して活動しています。

□ 高等部普通科（普通学級）

高等学校と同じ教科書（拡大版、デジタル版、点字版、音声版）を使用して、同じ内容を学習します。

進学希望者には、模擬試験や放課後に講習等を行います。また、インターンシップでの職業体験活動や、札幌市内の高等学校との交流及び共同学習を行います。

□ 高等部普通科（重複障がい学級）

国語や数学、情報、職業等では、知的障がい者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等の目標や内容を学習します。生徒の実態に合わせたグループ学習を中心に、卒業後の就労に向け、達成感や自己有用感を味わえるような授業を行います。

現場実習では、生徒の実態に応じて「学校近隣での実習」「居住地での実習」「卒業後の就労を前提とした実習」を行っています。

□ 自立活動の学習

視覚障がいによる困難さを生じやすい、学習や生活の基盤となる「文字の読み書き」「情報収集」「移動」「日常生活動作」などを中心に、個別に自立活動の学習を行います。

高等部普通科では、早い段階で単独での登下校（帰省・帰舎）が行えるよう、歩行訓練に取り組みます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（高等部専攻科）～2名【小野治療院、株式会社フレアス】
- 福祉的就労（高等部普通科）～3名【函館視力障害センター（理療教育）、キャリアエスコート】
【就労継続支援B型事業所 ワークプレイスさんれっど】
- 進学（高等部普通科）～3名【筑波技術大学共生社会創成学部共生社会創成学科（視覚障害コース）】
【本校専攻科保健医療科、札幌ビジュアルアーツ専門学校】

学校Webページ

